

ユニセフとわたしたち



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

北海道ユニセフ協会

〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ本部2F
TEL.011-671-5717 FAX.011-671-5758 E-mail:info@unicef-hokkaido.jp
<http://www.unicef-hokkaido.jp>

北海道ユニセフ協会は下記の曜日・時間に開設しております。
お気軽にお問い合わせ下さい。

- 活動日／月・火・木・金曜日／AM10:00～PM4:00
- お休み／水・土・日曜日・祝祭日・夏冬休み

目次

● ご挨拶	1
● 2021年 事業報告	2
● 2022年 事業計画	5
役員・評議員名簿 北海道ユニセフ協会規約	
● 支部報告と計画の概要 ～道央、道東、道北、道南～	8
● ご支援と活動のようす	12
学校 企業・団体 コープさっぽろ	
● 活動へのメッセージ	16
● インフォメーション	17

ユニセフとは

ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)はすべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。第2次世界大戦によって厳しい生活を強いられた子どもたちへの緊急支援を行うため、1946年に創設されました。教育、保健、水と衛生、栄養、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、アドボカシーなどの支援を実施し、戦争で被災した子どもに限らず子どもたちの健やかな成長のために活動を行っています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

公益財団法人日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は世界34の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。日本ユニセフ協会の事業は、ユニセフとの間で行なわれる定期協議の場で合同計画を作成し、同計画に基づいて実施されています。これまでに子どもの権利条約及び選択議定書の批准に尽力し、また現在は子どもの商業的性的搾取や子どものポルノなど子どもの保護に関する問題に取り組んでいます。

北海道ユニセフ協会とは

北海道ユニセフ協会は、公益財団法人 日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、ユニセフの趣旨に基づき、ユニセフへの協力活動を推進する独自の任意団体です。当該県・地域を代表するユニセフ活動の拠点として、また地域の社会・文化に根づいたユニセフの広報・募金活動を実施しています。

全国に26の協定地域組織が活動しています。(2022年1月現在)各地域で活躍される各界を代表する方々に理事、監事、評議員などをお引き受けいただき、幅広いご支援をいただいています。

ご挨拶

北海道ユニセフ協会
会長理事 長瀬 清



皆様には、熱い思いをもって新しい年をお迎えのことと思います。

2年に及ぶコロナ禍により、日常生活はもとより、世の中のあらゆる仕組みに齟齬をきたし、感染症の収まりかけた今、どのように立ちなおすか、日本ばかりでなく世界中が模索をしている状況です。コロナ禍の影響をまろにかぶったのは子どもたちでした。

子どもの生活の一番もとになる学校生活が休校などで狂い、子ども同士の接触が制限され、精神的よりどころを失い、家にあっては家庭内の団らんが暴力の場が変わったり、かつて経験されなかった多くの現象が生じました。経済的落ち込みから、旅行などの家族揃っての楽しい場づくりの消失など、子どもにとっては過酷な現実が続きました。世の中全てがそのような状況でしたから、避難する場所も、開拓するところもありませんでした。この間にも世界の多くの場所で、国と国との争いが起こり、安全な場所もなくなりました。私たちの活動の場もコロナ感染症に奪われ、思うような活動も制限されました。令和3年半ばから感染症の勢いも収まりを見せ、コロナウイルス感染症第6波の心配も杞憂に終わるかなと安心感が漂い始めるや、新たな変異株であるオミクロン株が発生し全世界に拡散しています。

今年こそはコロナ禍を克服し、希望溢れる年になるよう心から願っています。



2021 年事業報告

1 活動報告

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- 1) 拡大常務会は月次開催し活動の報告と審議を行いました。2月に第1回理事会・評議員会を行い、2020年報告と2021年事業計画を審議されました。10月には第2回理事会を行い、2021年上期報告と2022年事業計画が審議されました。いずれも、オンラインを取り入れた開催となりました。
- 2) ボランティア体制の充実を図るため、3月にボランティア説明会を行いました。例年、会場としている札幌市生涯学習センターちえりあが使用できないため手稲区民センターにて行われました。北海道新聞に掲載された効果もあり、例年よりも多い参加と登録を得ることができました。また、各イベント会場においてもボランティア募集を行いました。
- 3) 他団体とのネットワークづくりでは、新型コロナウイルス感染拡大のため、団体主催・共催のイベントは減少しましたが、参加可能となったイベントでの交流を深めることができました。2020年より正会員に登録いたしました北海道 NGO ネットワーク協議会の交流の中から活動の広がりができました。
- 4) 新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置および緊急事態宣言の発令により、暫し、ボランティア体制も縮小せざるを得なくなりましたが、従来のボランティア通信に加え、オンラインも活用したミーティングを充実させました。また、日本ユニセフ協会が主催するオンラインによる会議・研修会・スタディツアーに参加し、情報交換と学習を進めました。さらに内部学習も充実させ、パワーポイントを使用した、SDGsにも触れたユニセフ教室の進め方を学びました。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

- 1) 広報活動では広報誌を5月に3,000部発行し、役員、会友、後援依頼先、協力団体・個人などに配布しました。ホームページでは、様々な活動を事前にお知らせし、毎週新しい情報の発信をするよう努めました。北海道庁・札幌市・帯広市・北海道内179市町村教育委員会及び11の報道関係各位に北海道ユニセフ協会への後援をいただきました。
- 2) 学校における活動では、新型コロナウイルス感染拡大により、今年も講師派遣、募金贈呈式は減少しました。学校のご協力により行ったオンラインを活用してのユニセフ学習は広範囲である北海道において、新たな可能性を見出す機会となりました。7月には日本ユニセフ協会主催学校キャラバンに参加いたしました。釧路、千歳、札幌でハイブリッド方式により行われ、各会場の体験活動には北海道ユニセフ協会の学習講師が、参加いたしました。
- 3) パネル展は例年通り開催できない会場もありましたが、小樽市で開催することで「小樽グリーンライオンズクラブ」の活動を継承することができました。
- 4) 北海道ユニセフ協会主催の講演会では、日本ユニセフ協会から講師をお招きしました。また、北海道ユニセフ協会会友、日本ユニセフ協会賛助会員の拡大とともに、「子どもの権利条約」子どもの課題に焦点をあてた「SDGs」の推進を働きかけました。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- 1) 一般募金はイベントでの呼びかけを中心に行いました。学校募金は、講師派遣・視聴覚教材の貸出等の機会に募金の案内をしました。団体・企業の取り組みは、北海道庁、札幌市及びコープさっぽろインドネシアパプア地区「よむ・かく・うれしい」指定募金に取り組みました。緊急募金は日本ユニセフ協会の呼びかけに対応しました。「ユニセフ外国コイン募金」を広くお知らせし、例年企画の新千歳空港国際線の外国コイン募金は、国際線の運休の為中止いたしました。
- 2) 今年もハンド・イン・ハンド募金の街頭募金活動は中止せざるを得ませんでしたが、「フレンドネーション」によるオンライン募金に合わせ、SNSでの発信にも取り組みました。評議員、会友、ボランティアの皆さまに広く呼びかけを行いました。
- 3) 支援ギフトは北海道ユニセフ協会事務所にて支援ギフトを常設展示し、イベントにおいても紹介しました。
- 4) ボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」により使用済み切手・書き損じはがきの換金作業・イベントでの募金の呼びかけに取り組みました。年2回のコープさっぽろ「書き損じはがきキャンペーン」仕分け・換金作業を行いました。
- 5) カレンダーバザーはアスティ会場での取り組みは出来ませんでしたが、コープさっぽろ店舗で行いました。

2 2021年 決算報告

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			3,853,898
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		2,466,398
	特別事業仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			7
募金仮受金			2,259,698
小計			6,113,603
前期繰越金			100,000
収入合計			6,213,603

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費			2,634,947
	啓発・募金活動費		2,634,947
		催事費	469,040
		資料制作費	309,524
		旅費交通費	96,380
		通信運搬費	315,955
		消耗品費	16,040
		ボランティア費	337,396
		アルバイト費	120,000

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計
事業費		光熱水費	50,292
		事務所借料	264,000
		OA機器リース費	53,460
		事務局スタッフ費	600,000
		雑費	2,860
	特別事業費		0
運営費			1,152,624
	会議費		5,200
	通信運搬費		10,248
	消耗品費		0
	図書資料費		0
	印刷製本費		2,710
	光熱水費		50,292
	賃借料		299,420
		事務所借料	264,000
		OA機器リース費	35,420
	備品購入費		1,408
	交通費		172,780
	事務局スタッフ費		600,000
雑費		10,566	
租税公課		0	
募金仮受金入金払出金			2,259,698
日本ユニセフ協会へ返金			66,334
小計			6,113,603
次期繰越金			100,000
支出合計			6,213,603

3 活動データ

I 学習会・募金贈呈式

2月	札幌市立西野中学校
3月	札幌市立北都小学校／札幌市立石山東小学校／札幌市立発寒西小学校
7月	札幌市立北都小学校／札幌市立中央中学校
8月	北見市立相内中学校
9月	札幌市立藻岩北小学校／札幌市立西野小学校
11月	今別町立今別中学校（青森県）
12月	札幌市立幌南小学校／札幌市立発寒西小学校／札幌市立発寒南小学校／札幌市立八軒東中学校／市立札幌開成中等教育学校／札幌市立前田北中学校

II パネル・DVDなどの貸出実績

10月	札幌市立富丘小学校／個人1名
11月	今別町立今別中学校（青森県）／札幌市立北野中学校／市民ネットいしかり
12月	札幌市立前田北中学校／クラーク記念国際高等学校

III 月別募金推移

	1月	2月	3月	4月
2020年	546,214 (16)	627,769 (13)	46,565 (8)	11,698,194 (6)
2021年	635,781 (16)	1,973,219 (10)	161,822 (11)	12,167,702 (9)
	5月	6月	7月	8月
2020年	198,176 (12)	151,590 (15)	1,075,188 (42)	227,131 (12)
2021年	58,060 (6)	333,707 (9)	836,627 (40)	387,511 (18)
	9月	10月	11月	12月
2020年	161,821 (15)	83,674 (22)	472,213 (45)	778,314 (46)
2021年	39,019 (3)	145,260 (16)	627,427 (62)	1,153,153 (62)
	合計			
2020年	16,066,849 (252)			
2021年	18,519,288 (262)			

IV 2021年募金をいただいた方々

(書き損じハガキ・使用済み切手など含みます)

1月

西尾レントオール株式会社/佐藤水産株式会社(本社、宮の森店)
/北スタイル株式会社/株式会社アクセント/遠軽郵便局/札幌
中島ライオンズクラブ/トヨタカラー札幌株式会社/北海道
大学生協同組合/コープさっぽろ2件/株式会社アクセント/市
立札幌開成中等教育学校/コープさっぽろ西岡ボランティア
グループ/チャイルドサポートはまなす/個人7件

2月

株式会社すけみつ/札幌市立西野中学校/清田みなさん会/
札幌大通郵便局/コープさっぽろ/社会福祉法人岩見沢市社
会福祉協議会/札幌市立西野中学校生徒会/札幌市立新琴似
中学校生徒会/個人8件

3月

損保保険ジャパン/帯広長崎屋内郵便局/株式会社かんぽ生
命保険北海道エリア本部/札幌少年友の会/公益財団法人北
海道学校給食会/荒井建設株式会社札幌支店/㈱道新サー
ビスセンター オントナ事業部/サッポロシニアライオンズク
ラブ/札幌市立登寒西小学校/個人3件

4月

東京海上日動火災保険株式会社札幌中央支店業務グループ/
一般社団法人北海道土地改良建設協会/日本石輸送株式会
社北海道支店/地方独立行政法人北海道立総合研究機構上川農
業試験場/札幌大通郵便局/札幌中島ライオンズクラブ/ホテ
ルライフォート札幌/チャイルドサポートはまなす/個人2件

5月

札幌市住宅管理センター厚別管理事務所/株式会社エルム管
理部/札幌北三十三条郵便局/札幌赤レンガライオンズク
ラブ/個人8件

6月

コープさっぽろ2件/株式会社 AKCompany/帯広電信通郵便
局/大和リビング株式会社札幌営業所/社会保険労務士法人ボ
ラリス/チャイルドサポートはまなす/個人7件

7月

株式会社オバタ/厚別ひばりが丘郵便局/株式会社交通新聞
社北海道支社/日章冷熱株式会社/コープさっぽろ/手稲本
町郵便局/北海道信用農業協同組合連合会/札幌屯田八条郵
便局/琴似二条郵便局/株式会社 LNJ 商事/北海道ユニセフ
協会 道東支部/チャイルドサポートはまなす/個人8件

8月

札幌三十三条郵便局/札幌新琴似一条郵便局/札幌市営住宅管
理センター厚別管理事務所/ドコモ札幌ロジスティクス/札幌市
社会福祉協議会/コープさっぽろ/チャイルドサポートはまなす

9月

コープさっぽろ/札幌歩こう会/株式会社エスケークリード
/蘭越町社会福祉協議会/個人8件

10月

日本設備工業株式会社札幌支店/株式会社東急コミュニティー
札幌市住宅管理センター厚別管理事務所/札幌清田ライオンズ
クラブ/札幌中島ライオンズクラブ/㈱コンサドーレ/札幌市
立藻岩北小学校/チャイルドサポートはまなす/個人3件

11月

株式会社明電エンジニアリング北海道支店/北海道漁業協同
組合連合会/札幌中島ライオンズクラブ/琴似二条郵便局/
道路建設株式会社/コープさっぽろ/旭川東光郵便局/帯広
鉄南郵便局/札幌北三十三条郵便局/ドコモ札幌ロジステ
ィクス/平岡福音キリスト教会オリープの会/チャイルドサポ
ートはまなす/個人9件

12月

北海道はまなす食品株式会社/日本設備工業株式会社札幌支
店管理課/札幌中島ライオンズクラブ/札幌大学ユニセフ
ネットワーク/札幌大学ユニセフネットワーク国際ソロブチ
ミスト 札幌ノイエ/札幌市立登寒南小学校/札幌市立登寒西
小学校/札幌市立八軒東中学校/チャイルドサポートはまな
す/個人6件

カレンダー提供団体一覧(順不同)

- ・株式会社新村組
- ・株式会社ダイクレ土木営業課
- ・株式会社竹中工務店北海道支店
- ・大和ハウス工業株式会社
(北海道支店/佐賀支店)
- ・shimbi
- ・YKK AP 株式会社
(北海道支店/ビル建材支店)
- ・アポロメディカルホールディングス株式
会社
- ・池田食品株式会社
- ・横浜植木株式会社北海道支店
- ・株式会社審美
- ・株式会社 NIPPO (開発事業部/総務部)
- ・ホクト建機サービス株式会社
- ・北斗工機株式会社
- ・北海道富士電機株式会社
- ・株式会社カナテック
- ・有限会社ホクサンオート
- ・株式会社かんぽ生命保険北海道エリア本部
- ・株式会社昭とプラント
- ・株式会社栄建設
- ・北榮興業株式会社
- ・株式会社アルフォ
- ・三機工業株式会社静岡支店
- ・三見金属工業株式会社北海道支店
- ・三井化学ファイン株式会社
- ・新太平洋建設株式会社
- ・積水ハウス株式会社
- ・積水ハウス不動産東北株式会社
- ・大日精化工業株式会社広報部
- ・日本パルスモーター株式会社
- ・中村三商株式会社
- ・成幸利根株式会社東京支店
- ・西尾レントオール株式会社
- ・株式会社伊藤塗工部
- ・株式会社日本製作所
- ・日鉄建材株式会社北海道支店
- ・戸田建設株式会社
- ・東洋建設株式会社横浜支店
- ・株式会社北陽北海道支社
- ・西松建設株式会社
(北陸支店/向台出張所/横浜営業所
/横浜湘南道路工事事務所/イオン石
狩 LC 出張/千住曙町出張所/南巨摩
出張所/湯船原工事事務所/西松・青
木あすなろ・岩田地崎 JV/西松・五
洋工事共同企業体 東百合丘工事事務
所/東関東営業所/赤羽台出張所/さ
いたま営業所 関東北部事務管理室/
金沢営業所/佐久出張所)
- ・バザーに取り組んでいただきました
コープさっぽろ
(西岡ボランティアグループ
新登寒店ユニセフボランティアグループ)

V 会友登録状況

2021年12月31日現在で118人の登録となっております。

(*順不同 *団体、個人は匿名も含みます。*募金は北海道ユニセフ協会扱いのみ記載しています。)

多くの皆様のご協力ありがとうございました

2022年事業計画

I. 活動計画

1. 北海道ユニセフ協会の運営を向上させます。

- 1) 機関運営は従来通り拡大常務会月例開催、理事会は年2回（2月、10月）、評議員会年1回（2月）として運営します。
- 2) ボランティア体制の充実に努めます。日常・イベント・学習ボランティアの確保に努めます。
- 3) 他団体とのネットワークづくりを目指します。
- 4) 内部学習を強化し北海道ユニセフ協会スタッフ・ボランティアのユニセフ理解を広めます。

2. ユニセフ活動への理解と協力を広める活動を強めます。

- 1) 北海道ユニセフ協会としての広報活動を強化します。広報誌は年1回内容の充実に図り発行します。ホームページについては、毎週更新として日々の活動を報告できるようにします。
- 2) 学校関係との連携強化を目指します。
- 3) 北海道内各地の公共施設及び会場でパネル展を開催し、広く道民の理解と協力を呼びかけます。
- 4) 北海道ユニセフ協会主催の講演会・フォーラムの開催を検討します。
- 5) 北海道ユニセフ協会会友及び日本ユニセフ協会賛助会員の拡大を目指します。
- 6) 子どもの権利を守るため日本ユニセフ協会が提唱するアドボカシー活動の広報に努めます。

3. ユニセフ募金についての活動を前進させます。

- 1) 一般募金の拡大を目指し、学校関係の働きかけの他、団体（企業）の協力支援を呼びかけます。
- 2) ハンド・イン・ハンド活動を進め、各支部にも実施要請していきます。その他企業、学校関係へも事前に働きかけます。
- 3) 「支援ギフト」による募金活動を強めます。
- 4) ボランティアグループ「チャイルドサポートはまなす」による募金活動を強めます。
- 5) カレンダー募金は提供者（企業・個人）、実施店への協力体制を拡充していきます。

2 2022年 予算

《収入の部》

大項目	中項目	小項目	合計
協会からの仮受金収入			5,265,000
	運営費仮受金		1,387,500
	地域普及費仮受金		3,877,500
	特別事業仮受金		0
寄付金収入			0
会費収入(独自)			0
補助金収入			0
	公的機関からの補助金		0
	民間からの補助金		0
雑収入			1,000
募金仮受入金			2,000,000
小計			7,266,000
前期繰越金			100,000
収入合計			7,366,000

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計	
事業費			3,878,500	
	啓発・募金活動費		3,878,500	
		催事費		600,000
		資料製作費		450,000
		旅費交通費		550,000
		通信運搬費		450,000
		消耗品費		120,000

《支出の部》

大項目	中項目	小項目	合計	
事業費		ボランティア費	600,000	
		アルバイト費	120,000	
		光熱水費	50,292	
		事務所借料	264,000	
		OA機器リース料	53,460	
		事務局スタッフ費	600,000	
		雑費	20,748	
		特別事業費	0	
				1,387,500
	運営費	会議費		40,000
通信運搬費			18,000	
消耗品費			10,000	
図書購入費			6,000	
印刷製本費			25,000	
光熱水費			50,292	
賃借料			317,460	
		事務所借料	264,000	
		OA機器リース料	53,460	
		備品購入費	8,000	
		交通費	300,000	
		事務局スタッフ費	600,000	
		雑費	12,748	
		租税公課	0	
募金仮受入金払い出し金			2,000,000	
日本ユニセフ協会へ返金			0	
小計			7,266,000	
前期繰越金			100,000	
支出合計			7,366,000	

2022年 役員・評議員名簿

1 役員

顧問	鈴木直道	(北海道知事)	常務理事	高口雅晴	(コープさっぽろ組織本部組合員活動部部长)
顧問	秋元克広	(札幌市長)	理事	北野和	(日本ボーイスカウト北海道連盟常任理事)
顧問	岩田圭剛	(北海道商工会議所連合会会頭)	理事	柴田倫宏	(北海道農業協同組合中央会専務)
相談役	重原祐治	(前財団法人日本ユニセフ協会北海道支部常務理事)	理事	杉山元	(連合北海道会長)
会長理事	長瀬清	(北海道社会福祉協議会会長・北海道医師会名誉会長)	理事	二階堂敏文	(北海道新聞社 取締役企画室長)
副会長理事	麻田信二	(北海道生活協同組合連合会会長)	理事	横澤秀明	(協同組合ネット北海道事務局)
副会長理事	吉野次郎	(元株式会社北洋銀行代表取締役副会長・現株式会社北星コーポレーション顧問)	理事	渡辺卓	(北海道経済同友会代表幹事)
専務理事	花淵馨也	(北海道医療大学大学院教授)	監事	高野一夫	(高野公認会計士事務所)
常務理事	櫻木真紀	(コープさっぽろ理事)	監事	中坪正芳	(折笠会計事務所)
常務理事	銀輝	(北海道ユニセフ協会事務局長)			

2 評議員

稲葉光秋	(読売新聞東京本社執行役員北海道支社長)	寺西朝子	(北海道ユニセフ協会道南支部事務局長)
井上健	(札幌テレビ放送株式会社代表取締役社長)	西尾吉博	(伊藤組土建株式会社取締役副社長)
梅岡宏	(NHK札幌拠点放送局局長)	錦秀見	(真宗大谷派北海道教務所長)
大泉弘	(前室蘭友の会代表)	西田栄子	(北海道ユニセフ協会道東支部代表)
岡田朋子	(北海道ユニセフ協会道南支部代表)	西村裕子	(北海道小学校長会事務局幹事)
川畑恵	(公益財団法人札幌国際プラザ常務理事)	野内吉徳	(ボーイスカウト北海道連盟常任理事)
木下真一	(北海道教職員組合中央執行委員長)	畠山京子	(北海道消費者協会会長)
工藤達志	(コープさっぽろ労働組合中央執行委員長)	馬場可隆	(立正佼成会札幌北教会教会長)
熊谷典昭	(新日本宗教団体連合会北海道総支部事務局長)	早坂天	(北海道ユニセフ協会道北支部代表)
越田公美	(北海道中学校長会事務局長)	林正憲	(北海道高等学校長協会副会長)
小林道	(酪農学園大学准教授)	原恒夫	(日本ユニセフハムクラブ会長)
沙々木学海	(北海道仏教会連盟会長)	羽磨生泰	(創価学会北海道長)
清水忠彦	(毎日新聞北海道支社支社長)	藤田一雄	(一般社団法人北海道歯科医師会会長)
清水紀元	(北海道ユニセフ協会道東支部事務局長)	藤原幸恵	(元ユニセフ職員)
清水目辰斗	(札幌大学ユニセフネットワーク部長)	三上大勝	(株式会社コンソードレ代表取締役GM)
條野由理子	(元ガールスカウト北海道支部札幌地区協議会会長)	三田肇子	(一般社団法人ガールスカウト北海道連盟連盟長)
杉本一幸	(株式会社生田原振興公社代表取締役社長)	山崎賢太郎	(日本航空株式会社北海道地区支配人)
関口正雄	(関口・鷲見法律事務所弁護士)	山崎靖	(株式会社朝日新聞北海道支社支社長)
多加順子	(元コープさっぽろ理事)	吉田隆志	(北海道放送株式会社経営企画局局長)
竹内伸仁	(一般社団法人北海道薬剤師会会長)	吉田千恵	(コープさっぽろ理事)
出井浩義	(北海道市長会事務局長)	渡邊幸宏	(北海道ユニセフ協会道東支部中標津友の会代表)
寺内達郎	(北海道テレビ放送代表取締役社長)		

(敬称略、理事・監事・評議員各位は五十音順)

北海道ユニセフ協会規約

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

北海道ユニセフ協会規約

前文

北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会が公益財団法人日本ユニセフ協会になったことを受けて、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承する形で設立されるものである。

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、北海道ユニセフ協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を北海道札幌市西区発寒11-5-10-1に置く。
2 本会は、理事会の議決を経て、必要な地に従たる事務所を置くことができる。

(目的)

第3条 本会は、公益財団法人日本ユニセフ協会(「日本ユニセフ協会」)との協力協定に基づき、北海道において、日本ユニセフ協会の定款目的を実現することを目的とする。

(活動)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
(1) ユニセフのための広報・啓発活動
(2) ユニセフへの協力(募金)活動
(3) その他日本ユニセフ協会の定款目的を実現するために必要な諸活動

第2章 運営

(会の構成)

第5条 本会は、第6条の役員、第13条の評議員及び第15条の顧問・相談役、第21条の会友を以て構成される。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された役員は、前任者または現任者の残任期間とする。

- (1) 理事 20名以内
- (2) 監事 2名以内

(選任)

第7条 理事及び監事は、評議員会において選任し、理事の中から互選で次の役職者を選任する。

- (1) 会長理事 1名
- (2) 副会長理事 2名以内
- (3) 専務理事 1名
- (4) 常務理事 若干名

(職務)

第8条 会長理事は本会を代表し会務を総理する。
2 副会長理事は会長理事を補佐し、会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。
3 専務理事は会長理事の意を受けて本会の業務を掌握し会長理事及び副会長理事に事故あるときにはその職務を代行する。
4 常務理事は理事会の議決に基づき必要に応じ本会の業務を処理する。
5 理事は理事会を構成し、本会の業務を議決し、執行する。
6 監事は本会の会計及び業務執行状況を監査する。

第3章 理事会

(権能)

第9条 会長理事は毎年2回以上理事会を開催し、この規約に定めるもののほか、以下の事項について決議し、理事会の議長として理事会を運営する。

- (1) 本会の事業計画と予算案
- (2) 本会の事業報告と決算
- (3) その他本会の業務に関する重要事項

(定足数)

第10条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第11条 理事会の議決は、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委任)

第12条 やむを得ない理由により理事会に出席できない理事は、予め通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。

第4章 評議員会及び顧問・相談役

(評議員)

第13条 本会は評議員30名以上50名以内を置く。
2 評議員は理事会で選出し、会長理事がこれを委嘱する
3 評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠または増員により選出された評議員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(評議員会)

第14条 評議員会は毎年1回以上開催する。
2 評議員会は、会長理事の諮問に応じ、必要な事項について審議し助言する。
3 評議員会には第10条、第11条、第12条の規定を準用する。
4 評議員会の議長は評議員会において互選する。

(顧問・相談役)

第15条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。顧問・相談役は理事会が推薦し、会長理事が委嘱する。

第5章 財産及び会計

(財産の管理)

第16条 本会の財産は会長理事が管理し、その方法は理事会の議決を経て会長理事が別に定める。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、移行年を除き、毎年1月1日から12月31日までとする。

(事務局)

第18条 本会の事務を処理するために事務局を設け、理事会の議決を経て事務局長及び所要の事務局員を置くほか、積極的にボランティアの参加を得るものとする。

第6章 規約の変更及び解散

(規約の変更)

第19条 この規約は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経なければ変更することができない。

(解散)

第20条 本会は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経て解散することができ、残余財産については日本ユニセフ協会に寄付するものとする。

第7章 会友

(会友)

第21条 本会の趣旨に賛同し、後援する個人または団体を会友にすることができる。
2 会友は、本会の運営に関し何らの権利及び義務を有しない。
3 会友に関する必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

第8章 補則

(設立年の通算表記)

第22条 北海道ユニセフ協会は、(財)日本ユニセフ協会北海道支部を継承するものであり、北海道ユニセフ協会の通算年の起点を(財)日本ユニセフ協会北海道支部設立の1994年2月1日とする。

(補則)

第23条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、会長理事が別に定める。

(施行)

第24条 この規約は2011年4月1日より施行する。

支部報告と計画の概要

道央（札幌・北海道ユニセフ協会）

■ 2021 年活動報告

開催月日	イベント名（会場）
*1月8～10日	カレンダーバザー（アスティ 4・5）
1月18～25日	カレンダーバザー（コープさっぽろ：エルフィン、にしの、二十四軒、ルーシー、西岡、新はっさむ、藤野、ソシア、いしかり、しんことに）
*3月2日	パネル展（北広島市）
*3月8日	パネル展（ちえりあ）
3月8日	ボランティア説明会（手稲区民センター）
4月10日	ユニセフ展 （コープさっぽろルーシーホール）
*5月	パネル展（北海道庁）

開催月日	イベント名（会場）
*7月	第 27 回ユニセフ・札幌ラブウォーク
7月13～16日	日本ユニセフ協会学校キャラバン （釧路市、札幌市）
*9月	パネル展（札幌市役所）
10月30日～ 11月1日	パネル展（小樽駅前第二ビル）
11月・12月	ハンド・イン・ハンド（オンライン）
11月2～4日	ユニセフ広場（新千歳空港）
11月5～7日	ユニセフ広場（アスティ 4・5）
12月4～5日	北海道国際協力フェスタ（オンライン）

*は中止になったイベントです。

ボランティア説明会

毎年、3月に行っておりましたボランティア説明会ですが、札幌市生涯学習センター（ちえりあ）が改修工事により使用できなかったため、今回は手稲区民センターにて行いました。

例年にもまして、参加者が多く、春から新しいメンバーが加わりました。



パネル展・小樽駅前ビル交流広場

今年も新型コロナウイルスの影響により、北海道庁、札幌市役所でのパネル展は行 could not be held. However, while we were unable to hold the panel exhibition at the Oshima City Hall, we were able to continue the panel exhibition in Oshima by collaborating with the Oshima Green Lions Club.

久々の小樽での開催に、多くの方が関心を向けてくださいました。



ユニセフ広場 新千歳空港、アスティ 4・5

新千歳空港では新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等も解除されたので、感染対策をしつつ開催することができました。旅行者も増え、出発待ちの家族連れの方々が「もったいないばあさん」のDVDを見てくださいました。

アスティ 4・5 ではパネル展の他に、新千歳空港に寄せられた外国コインを用いて子ども向けのワークショップを行いました。普段あまり目にする事がない様々な国のコインに興味深く参加していただきました。



北海道国際協力フェスタ

毎年、札幌市地下歩行空間で行われていた、北海道 NGO 協議会主催の“国際協力フェスタ”は今年、オンラインで開催され、各専門分野の方の講演と協力団体が参加をしました。

当協会も小原学習講師によりユニセフについての学習会を行いました。

参加者の皆様の様子を直接感じ取るところは難しいですが、オンラインなりの利点として、世界における様々な問題を参加者一人一人がじっくり考える機会となりました。



ルーシーホールオープニングイベント

4月10日、コープさっぽろルーシー店文化教室にリニューアルオープンした“ルーシーホール”でのイベントに参加させて頂きました。フリーマーケット会場には北海道ユニセフ協会のコーナーが設けられ、支援ギフトの展示と“SDG's 輪投げ”を設置しました。



輪投げをとおして「君には、どんなことができるかな？」と少し考えてみたり、難しいお友達には、「赤い所に入るようにエイッ！と投げてみて」と、遊びながら学べる楽しい時間となりました。また、教室のレッスン料やゲームの参加費の一部から募金を頂きました。

フレンドネーション



「ハンド・イン・ハンド 2021 ほっかいどう」

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、街頭募金はできませんが、スマホやパソコンからユニセフ募金に協力をお願いいたしました。

ユニセフ募金専用サイト（フレンドネーション）

開設期間：11月・12月

ほっかいどうから世界の子どもたちへ

達成金額 86,000円 サポーター 17名



北広島（コープさっぽろエルフィン会場）ボランティア活動

札幌市に隣接する北広島市のコープさっぽろエルフィン店内で、毎月1回定例ボランティアを開催している「北広島チーム」です。北広島市は、今話題の新庄監督率いる北海道日本ハムファイターズの球場が建設中の活気ある街です。女性リーダーを含めた女性4名と男性2名で、切手整理や外国通貨の仕分け作業等を行っています。毎月1月のカレンダーバザー募金では、例年心待ちにしている地域の人たちに大変喜ばれています。今後も「SDGs」を念頭に活動をします。



2022年活動予定

春

- ボランティア説明会
- パネル展（ちえりあ）
- 広報誌発行
- パネル展（小樽）

秋

- 札幌市役所パネル展
- ハンド・イン・ハンド
- コープさっぽろ食べる・たいせつフェスティバル

夏

- 北海道庁パネル展
- パネル展（札幌近郊）
- ユニセフ・札幌ラブウォーク

冬

- ユニセフ広場（新千歳空港、アスティ4・5）
- 外国コイン回収
- 北海道国際協力フェスタ
- カレンダーバザー

道東支部（釧路）

2021 年活動報告

月 日	イベント名企業・団体名	会 場
7月13日	学校キャラバンオンラインユニセフ学習	釧路市立山花小中学校
7月14日		釧路明輝高等学校
11月6～7日	生涯学習フェスティバルまなトピア 2021	釧路市生涯学習センター

学校キャラバン

機器に慣れていない私たちがオンライン（zoom）授業を体験し勉強になりました。生徒さん達は慣れたもので画面を見ながら実物（上腕測定メジャー、水がめなど）に触れて、特に異文化理解選択の高校生には良かったと思いました。先生も栄養治療食をさわり、何カロリー？ 美味しいの？と好意的だったので次回につなげたいです。



生涯学習フェスティバルまなトピア 2021

コロナ禍でやはり参加は少なく、特に子どもたちの声が聞かれず寂しかったが、二日間、パネル展示とDVDを放映し、募金にも協力していただきました。



2022 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
1月15～16日	カレンダーバザー	新年のカレンダーバザーによる募金活動
5月	道東支部総会・会員研修会	道東支部の事業の報告と計画・研修会
7月	ユニセフ講師派遣	学校訪問・児童・生徒さんにユニセフの紹介
8月	釧路みなとコンサート	パネル展と募金活動・チラシ配布
9月	食べる・たいせつフェスティバル in 釧路	パネル展と募金活動・チラシ配布
10月	くしろせんもん学校・学校祭	パネル展と募金活動・チラシ配布
11月	生涯学習フェスティバルまなトピア 2022	パネル展と募金活動・チラシ配布・DVD 放映

道東支部（中標津友の会）

2021 年活動報告

月 日	イベント名／企業・団体名	会 場
7月	千島歯舞居住者連盟中標津支部青年部主催 北方領土返還運動寄席 →コロナ禍の為中止	中標津町総合文化会館

昨年同様、町内のイベントが軒並み中止となり又、行動自粛等もあり活動が出来ない状態です。来年については、感染対策を行いながら様々な活動が出来る事を願っております。



2022 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
7月	北方領土返還運動寄席	会場内での実施補助を行い、ポストカードバザー、募金活動、チラシ配布を実施予定。

コロナ禍の影響により、今後イベントが開催されるか不明であるものの、募金BOXを設置してもらう等の普及活動も計画

道北支部（旭川）

2021 年活動報告

月 日	イベント名	会 場
1月27、28日	カレンダーバザー	コープさっぽろ東光店
8月20～30日	募金回収	旭川市内 8 か所での募金回収と継続のお願い
11月11・12日	ユニセフパネル展	コープさっぽろ東光店
12月6～9日	ハンド・イン・ハンド	旭川市立明星中学校（校内）
12月13～16日		



コープさっぽろ東光店でのユニセフパネル展

今、このコロナ禍の中で大雪アリーナで行われる、「食べる・たいせつフェスティバル in 旭川」と明星中学校によるハンドインハンドの買物公園街頭募金など中止となってしまいました。早くコロナが終息することを願いながら、皆様にユニセフを知っていただくよう活動を行っていききたいと思います。

2022 年活動計画

予定月日	イベント名	内 容
1月	カレンダーバザー	カレンダーバザーによる募金活動
9月	ユニセフパネル展	ユニセフパネル展（2）日間
8～9月	募金箱回収	募金回収活動
12月	ハンド・イン・ハンド	旭川市立明星中学校の生徒による活動

道南支部（函館）

2021 年活動報告

月 日	イベント名／企業・団体名	会 場
1月15、16日	カレンダーバザー	コープさっぽろ湯の川店
11月21日	映画上映会「存在のない子供たち」	函館市中央図書館
12月12日		札幌国際交流館（リフレサッポロ）

9月に開催予定だった映画上映会がコロナの影響で延期になり11月に開催となった。定員を減らし、コロナ対策を徹底した上で上映した。函館は午前、夕方と2回上映し、参加人数は約80名。札幌の上映会では約50名の参加者があった。身近な映画をとおして貧困、難民、移民など世界の子どもたちが置かれている現状を知ってもらおう機会となりました。



1月15日（土）16日（日）の二日間、コープさっぽろ湯の川店1階にて、カレンダーバザーを行いました。知り合いのYouTuberにSNSで呼びかけをしてもらったのが功をそうしたのか常に賑わっていました。



2022 年事業計画

予定月日	イベント名	内 容
未定	カレンダーバザー	カレンダーバザー
未定	だらせんプロジェクト	外貨の寄付
9月	映画上映会	世界の子供に関する映画上映会

ご支援と活動のようす

学校

講師派遣や募金贈呈式でユニセフ学習に取り組んだ皆さんの感想をいただきました。

札幌市立北都小学校 6年生

世界の子どもたちの命を少しでも助けられる機会をいただいて、ありがとうございます。
緑色の募金袋を見て、世界の子どもたちが、たくさんの苦勞をして毎日を過ごしているということが分かり、日本では考えることのできない、とても重大な問題だと思いました。
また、「だれ一人、取り残さない世界をつくろう」という言葉を心に留めながら生きていこうと思いました。私たち6年生では、SDGsを題材とし、様々な授業に取り組みました。そして、このままではいけないということや、その目標を達成する一つ的手段に、ユニセフの活動への参加があることを知りました。ユニセフの活動に参加することで、たくさんの人々の命を救うことができていると知り、心からうれしく思います。これからも、私たちの想いが、活動を通して世界へ届くことを願っています。



北見市立相内中学校 教諭

私達、相内中学校は今年からSDGsについて理解を深め、自分たちにできることは何かを学び始めました。最初はSDGsといわれてもすぐに答えることのできない人が多かったです。しかし、ユニセフさんの講演を受けSDGsについて理解を深めることができました。世界にはまだまだ多くの人が苦しんでいたりする現状を目の当たりにしました。即腕帯をみると信じられないくらい細い腕をした子どもがいることは衝撃的でした。私たちが当たり前のように過ごしていることは当たり前ではなく、恵まれた環境だということを実感しました。また、17の目標を達成しようとドローンを活用したり、努力していることを知りました。そして、今を生きる私達の行動の大切さを改めて感じました。講演の後にも更にSDGsについて詳しく調べ、自分たちにできることをしっかりと取り組んでいきたいと決意を固めました。



今別町立今別中学校（青森県） 3年生

- 1年間で250万人の子供たちが亡くなっていると聞き、胸が痛くなりました。中には、自分と同じくらいの年代の子もいると思います。これからの世界を担う子供たちを少しでも多く救うために、自分たちがもっと意識を高めていく必要があると思いました。
- 世界には、飲み水を得るために近くの川へ行ったり、食料が届くまで我慢したり、家族のために働いたりしている子供たちがいるということを聞いて、信じられない光景だと思うと同時に、また、すごいなとも思いました。自分たちは、今の生活以上の欲を求めています、それより先にまず、世界の子供たちを救うべきだと思います。
- 地雷についてのお話を聞きましたが、世界にはまだまだたくさんの地雷が埋まっています、それを取り除く活動をされている人がいると聞き、とても大切なことだと感じました。



北海道内で唯一、ユニセフへの協力とサポートを行っている大学サークルです。
 一昨年からは新型コロナウイルス感染拡大により、大学のサークル活動も制限を余儀なくされ、自分たちに何ができるのか模索してきました。
 一昨年ぶりにオンラインで行われた学校祭ではホームページによる出店を行い、優秀賞をいただきました。まだまだ制約がある状態ですが、伝統あるこのサークルを継承していきたいと思っています。



ユニセフキャラバンを終えて

北海道ユニセフ協会学習講師：小原佳子

新型コロナウイルスの影響でユニセフ・キャラバン・キャンペーンが1年遅れで2021年7月に再開することを聞き楽しみにしておりましたが、最終結果は来道は見送られ、東京からオンラインで授業を行う方向となりました。しかしオンラインを繋ぐだけではなく「ハイブリットな形で」というひと工夫が織り込まれていました。

コロナ禍にあって学校教育の現場もオンライン授業と従来の対面授業を組み合わせ「ハイブリット型授業」が進められているというニュースをよく耳にしておりましたが、私の「ハイブリット」の理解はこの程度のもので、今回のキャラバンは東京一学校一札幌事務所の3点をオンラインで繋ぐものと思っていました。打ち合わせ(ZOOM)を通して、東京からユニセフ授業、札幌のスタッフが現地に赴きサポート役、それぞれの場所で役割を持ち、複数の方法を組み合わせ一つの形を生み出していく、この事が「ハイブリットの形で」と仰る意味が理解でき、「目から鱗」でした。

一日目は道東(釧路)方面の過疎によって小中一貫校となった3年生から中学生の生徒さん。二日目釧路市内の高校で「異文化理解」を選択されている生徒さんたちでした。どちらの学校も一人ひとりの個性を尊重された学校を訪問させていただきました。実際の支援物資を興味深く手に取り、知るだけでなく積極的な協力がしたいと一歩進めた感想を聞くことは私たちへの励みでした。

道東のユニセフ活動歴は長く募金活動も積極的に行ってくださる地域です。しかしスタッフの皆さんも高齢化がすすみ、学校訪問までは難しい状況だったようです。今回のハイブリットの形を共に経験され、役割を分散することで「ユニセフ教室」を続けて頂きたいと願いました。

三日目は北海道空の玄関口である千歳市内の高校へお邪魔しました。高校生とあって水汲みの体験では走って次の人へバトンする元気な生徒さん。この水を自宅まで毎日運ぶことが日課であったら……の質問に即答「絶対無理!」。途上国の現状を知っていただく一場面でした。自分と地球の裏側で起きているギャップにそれぞれ感じていただける時間を過ごさせていただきました。

四日目は札幌市内の小学校2校。一校は毎年国際協力の一環としてユニセフ教室の依頼を頂き募金にまで繋げて頂き、先生方のユニセフに対する理解と協力に感謝しております。もう一校は我々の事務所から一番近い学校でもあり、今回初めてご参加頂きました。生徒さんたちの眼差し、積極的な質問が物語っていました。また先生方との繋がりを頂くことができありがとうございました。

コロナ禍によって学校も生活も一変してしまいましたが、今回のユニセフキャラバンで編み出されたオンライン+ハイブリット授業を通して多くを教えられると同時にチャレンジが与えられました。広い北海道! 日帰りのできない市町村であってもオンラインで繋がることができます。昨年からのコロナ禍によって北海道ユニセフ協会にも地方の学校からオンライン授業の申込みを頂くようになり、事務局の助けを頂きながら準備を進めております。ハイブリット型とまではいきませんが視覚教材として前もって学校側にお届けし、実際の物を手に取っていただき、オンラインを通して疑似体験できるよう説明させていただいております。まだまだ模索中であり、いくつかの課題がありますがスタッフ一同前向きに検討していきたいと願っています。



釧路明輝高校



釧路市立山花小学校



札幌市立西野小学校



札幌市立発寒東小学校



千歳市立千歳高校

企業・団体

ご協力いただきました多くの企業や団体様の一部をご紹介します。

株式会社 LNJ 商事

幼少の頃、自転車屋を営む親戚が、きれいな紙箱に使用済み切手を集めていました。使用済みのものが誰かの助けになるのだと知って大変驚きました。社会人になり沢山の郵便物を目にするようになった私は、自然と使用済み切手を集めだすようになりました。

何年間も有志で細々と集めていた使用済み切手でしたが、2018年からは会社のネットを活用しグループ会社へ協力の呼びかけが出来るようになりました。会社からは社内便利用の許可も得て、今は全国津々浦々にあるグループの方々から沢山の使用済み切手が届くようになりました。

今、世界中で災害が多発し、内戦や難民のニュースも頻繁に目にします。悲惨な状況の中、助けを求めている多くの子どもたちに対して常に心を寄せながら、引き続き活動を続けていきたいと思っています。



北海道労働金庫

「北海道ろうきん創立 70 周年記念」寄付事業として、広く地域で社会貢献活動に取り組む 3 団体に北海道ユニセフ協会が選考され、8 月 20 日（金）ろうきん本店において寄付金贈呈式が開催されました。北海道労働金庫出村理事長より募金として寄付金をいただき、北海道ユニセフ協会、花淵専務理事が感謝のご挨拶をさせていただきました。



北海道はまなす食品株式会社

北海道はまなす食品は、2018 年ごろより使用済み切手の収集を意識的に開始し、定期的に、コープさっぽろ本部内にある、北海道ユニセフ協会へ、送っております。

取引先様が増えれば増えるほど、請求書や納品書のやり取りが増えることを機に、スタートしました。今では、事務所に設置した収集用の瓶に各自入れるように習慣化されました。

同じ地球に住む人々のために、少しでもお役に立てるよう継続していきたいと思っています。

北海道・札幌市

北海道庁（各振興局等も含む）より 852,616 円、札幌市役所より 179,574 円の募金をいただきました。

チャイルドサポートはまなす

学校や個人、団体様よりご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがき、プリペイドカードなどを整理換金しているのが「チャイルドサポートはまなす」です。

2021 年の募金額 748,466 円



コープさっぽろ

ユニセフオンライン学習会

コープさっぽろ組合員活動委員長・北海道ユニセフ協会評議員 吉田千恵

9月末で国内の「緊急事態宣言」解除後の10月に日本ユニセフ協会より石尾 匠さまにお越しいただき「ユニセフ指定募金学習会」を昨年同様にオンラインと対面のハイブリット開催することが出来ました。

「ブータンからインドネシア・パプア地域よむ・かく・うれしいPJへ」と題し、これまでの指定募金の歩みと今について、現地の状況やコロナ禍での子ども達の様子などのお話を伺いました。クイズを通して「字が読めない」ということがどういうことなのかを体験し、より理解が深まり、参加した委員からは、ユニセフの取組みや指定募金とは何かを理解できた、今後の募金活動に活かしたい。字が読めないということがどういう事なのかがわかり、このPJの大切さを改めて感じたなどの感想が寄せられました。

また、昨年からは北海道ユニセフ協会 小原さまを講師にオンラインでの「ユニセフ学習会」を実施しています。学習会で世界の子どもたちを取り巻く環境を知り、必要な支援が出来るよう、これからは北海道ユニセフ協会さまのご協力のもと学習会を継続していきたいと思っております。

コープさっぽろ組合活動委員会でのユニセフ学習に寄せられたアンケートの一部です。

- 大変わかりやすくユニセフ活動のことを知ることができました。
- 支援している現地の様子、過程など動画で観られて、募金の力を実感しました。
- 私たちが普通に出来ている“読む、書く”ということがいかに大切なことか、この支援に関わる度に思います。子供達の将来のために、これからも応援していきたいです。
- 現地の状況が改めてわかってよかったです。募金が無駄に使われることがないように現地視察も重要だと感じました。

インドネシア・パプア地域への教育支援



コープさっぽろでは、2019年度から指定募金「インドネシア・パプア識字率向上プロジェクト」に取り組み、パプアの子どもたちの「よみ・かき」を応援しています。

インドネシア・パプア識字率向上プロジェクトの概要

活動1：教員と校長への読み書き指導法の研修
(200人の教員対象)

活動2：効率的な学習資料の提供 (生徒 4,200人を対象)

活動3：学校の水と衛生推進運動 (生徒 4,200人を対象)

活動4：地域住民への広報・啓発活動
(地域住民 12,000人を対象)

・募金機関 2019年4月～2022年3月

・現地活動期間 2020年7月～2023年6月



募金活動

もともと組合員活動として始まった北海道のユニセフ活動ですが、現在は、ユニセフ指定募金「インドネシア・パプア地域 よむ・かく・うれしい! 支援プロジェクト」、エコセンターでの古着の売上金を充てる「ロヒンギャ難民緊急募金」として継続しています。

年2回実施する書損じハガキ等回収キャンペーンでお寄せ頂く物品は、換金後、一部が北海道ユニセフ協会の活動支援に充てられています。

組合員さんの想いを国際支援へつなぐ役割を今後も継続していきます。



ユニセフとの出会いと これから

北海道ユニセフ協会
副会長理事 麻田信二



ユニセフの活動については、道職員時代、年末になると職場にユニセフの募金封筒が回覧されていました。子供を持たない同僚から、職場での募金以外にも個人的に募金をしていると聞き、個人的な募金を続けてきましたが、具体的な活動内容は詳しくは知りませんでした。

2007年から10年間、コープさっぽろの理事を務めたことから、理事会の席上、「コープさっぽろ指定募金」で取り組まれていた最貧国ブータンの学校の5千人の子供たちのために安全な水道と衛生的なトイレを作るプロジェクトの現地視察報告を聞きました。

社会人になった50年前、盛んに言われていた南北問題の解消は進むどころか、激しい競争による経済成長の上に成り立っている資本主義経済の発展が経済格差を拡大させ、世界には、沢山の子供たちが貧困状態に置かれている現実から、ユニセフ活動の重要性を痛感しました。

化石燃料の消費による温暖化や化学物質による汚染など地球環境問題は深刻化し、食料と安全な水の確保が世界的に大きな課題になっており、貧困状態に置かれている子供たちに対する「保健」・「衛生」の改善に取り組むユニセフ活動を強化して行かなければなりません。

そのためには、コープさっぽろ190万組合員に対し、ユニセフ活動への理解の輪を広げ、「コープさっぽろ指定募金」への賛同を拡大する努力が必要と考えています。

また、コープさっぽろに大きく依存している北海道のユニセフ活動ですが、道庁、179市町村、経済団体、協同組合組織、大学などへの働きかけを強めて行くことも併せて重要であると思っています。



インフォメーション……………

ユニセフにご協力いただく方法

ユニセフの活動は皆さまからのご協力によって支えられています



●ユニセフ募金

子どもたちを守るユニセフの活動全体を支えます。保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など、190の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な募金です。全国の郵便局（ゆうちょ銀行）からご送金できます。

振替口座：00190-5-31000

口座名義：公益財団法人日本ユニセフ協会

*通信欄に「K1-010 北海道」とご記入ください

*窓口でお振込の場合、送金手数料は免除されます

～このような方におすすめです～

最も支援が必要な子どもたちの支援を好きな時に行いたい！

●ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム

クレジットカードもしくはご指定の金融機関から、任意の金額を、毎月、自動振替でご協力いただく募金プログラムです。本プログラムは、ご支援期間が決まっておきませんので、停止のお申し出をいただくまで継続されます。

～このような方におすすめです～

最も支援が必要な子どもたちを継続的に支援したい！

●緊急・復興支援

地震や津波、洪水、台風などの自然災害や、紛争で被災した子どもたちのための緊急・復興支援活動を支える募金です。

「支援先をお選びください」ロヒンギャ難民・新型コロナウイルス緊急・シリア・アフリカ栄養危機・自然災害・人道危機（2022年1月1日現在）

～このような方におすすめです～

自然災害や紛争の影響を受けている子どもたちを支援したい！

●分野・地域指定募金

水と衛生、HIV／エイズなど特定のユニセフの活動分野や、ユニセフが活動を行っている国・地域を指定してご支援いただける募金です。

～このような方におすすめです～

特定のプロジェクトを応援するため支援したい！

●北海道ユニセフ協会の「会友」登録

北海道ユニセフ協会は「会友（かいゆう）」を募っています。この会は北海道ユニセフ協会が行う様々な活動をご支援いただく団体です。会友登録は無料ですが、広報誌やイベント案内など希望される方には通信費として最低500円以上（年）のご寄付をお願いしています。趣旨をご理解の上、ぜひご登録をお願いいたします。

●支援ギフト

ユニセフの支援物資を、途上国の子どもたちにプレゼントのご支援方法です。ワクチン、治療用ミルク、毛布などのユニセフの支援物資をご指定ください。ユニセフがあなたに代わって、子どもたちのもとにお届けします。



栄養治療食



毛布



箱の中の学校

●外国コイン

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、残ったコインや紙幣が必ずあるはず！一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。

●賛助会員

日本ユニセフ協会が行う様々な活動を、賛助会費によってご支援いただく協力方法です。賛助会員には「ユニセフニュース」や資料をお送りしますので、世界の子どもたちの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、出来る範囲で行動する機会にさせていただくことが出来ます。

会員の種類と期間

1. 一般賛助会員 1口 5,000円
(個人・入会月から1年間・申し出まで継続)
2. 学生賛助会員 1口 2,000円
(18歳以上の学生・入会月から1年間・申し出まで継続)
3. 団体賛助会員 1口 10万円
(企業、団体、有志のグループ・1年ごとの更新)
年会費は、毎事業年度における合計額の50%以上を当該事業年度の日本ユニセフ協会の公益目的事業に使用いたします。

●ボランティア募集しています

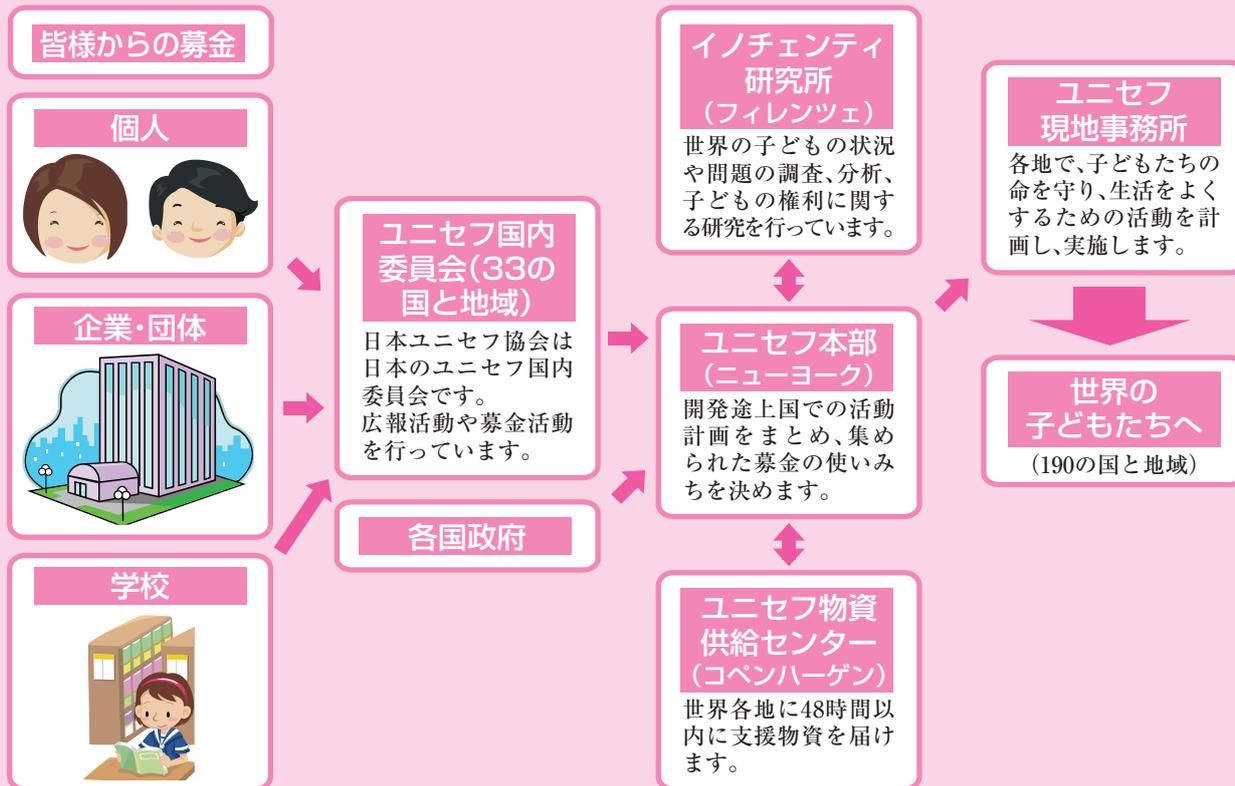
主な作業は、イベント会場や街頭での募金活動・外国コインの回収と発送。パネル展の企画運営やユニセフ支援ギフトの紹介。資料の作成や発送の作業、未使用や使用済みの切手・ハガキの整理などです。

●このようなものを集めています

・使用済み切手、・未使用切手・書き損じはがき

詳しくは北海道ユニセフ協会にお問い合わせください。

ユニセフの組織と募金の流れ



・地下鉄宮の沢駅より 徒歩20分 ・JR発寒中央駅より 徒歩10分

あともがき

二年にわたる新型コロナウイルスの影響により、今年も先の見通しが立たない中で私たちもどのような活動をしていけばよいのか模索した一年でした。しかしながら、with (ウィズ) コロナでできることとして、オンラインを通して遠隔地への学習会など、新たな広がりを見出すことができました。今後は対面、オンラインとそれぞれの良さを活用しつつ、前を向いて活動を進めていけたらと願っております。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



事務局 近藤
Photo by take621018